

令和 8 年地域井戸端会 報告書

開催日時	令和 8 年 5 月 18 日(月) 18 時 30 分～ 20 時 30 分		
開催場所	美川まちづくりセンター	参加人数	2 人
出席議員	大谷 学、 足立 豪、 柳楽 真智子		
一マ別に出 た意見	【総務委員会】防災と避難行動計画について ～災害が起きたらどうしますか？自分と家族を守るための行動～ ・ 自主防災組織は設立することが目的ではなく、継続的な活動が重要。 ・ リーダーや若い世代の担い手不足が課題。 ・ 最初から高度な活動を求めるのではなく、連絡網づくりなど取り組みやすい内容から始めることが有効。 ・ ハザードマップが活用されておらず、防災情報の周知不足がある。 ・ 避難所に指定されている施設が浸水想定区域内にあるなど、避難先の実効性に課題がある。 ・ 土砂災害の危険性は住民に伝わりにくく、意識向上が必要。 ・ 高齢者は避難指示が出ても実際には避難しないケースが多い。 ・ 子どもへの防災教育を強化し、マイタイムラインの宿題化など家庭への波及を図るべきとの意見。 ・ 消防団員や防災士自身が災害時に出勤するため、家族の避難支援が課題。 ・ 30～40 代世代の地域活動への参加促進が必要。		
	【文教厚生委員会】子どもや高齢者の暮らしの困りごと ・ 中学校部活動の縮小により、希望する競技を続けられない可能性がある。 ・ 競技継続のため市外へ流出する生徒が増える懸念。 ・ 外部指導者の活用にも送迎や移動手段の確保が課題。 ・ 通学路に歩道がない危険箇所があり、安全対策が十分ではない。 ・ 少子化の進行が予想以上に速く、教育体制の見直しが必要。		

	【産業建設委員会】100年先に残したい浜田の食 ・ 美川地区で「味噌の会」の活動では麴作りも行い、麴を多く使用した甘みのある手作り味噌づくりが行われている。「そのまま食べられる味噌」として地域の特色ある食文化になっている。 ・ 漬物文化は保健所指導等の影響で販売機会が減少している。 ・ 地域ならではの食体験や加工食品が来訪者の記憶に残る観光資源となっている。 ・ 味噌づくりや漬物づくりなど、家庭や地域で受け継がれてきた食文化の継承が必要。
自由意見	【総務委員会】 特になし
	【文教厚生委員会】 ・ 看護師確保のための修学資金貸付制度拡充。 ・ 放課後児童クラブ支援員の確保。 ・ 医療・介護人材確保とサービス維持。

	【産業建設委員会】 ・ 中山間地域の空き家・遊休地活用。 ・ 地域産品活用や地元雇用の促進。
--	---

令和 8 年 6 月 1 日 柳 楽 真智子